

—学生集会所の建て替えと現団支援について—

同窓会会長 松井 三郎(S41)

明治44年(1911年)建設以来、多くの学生クラブ活動の歴史を育んできた学生集会所が建て替えされることになりました。木造建物の老朽化は避けられず、耐震性と機能性に限界が来たことから、歴史的建造物として保存は出来ませんでした。第三代菊池大麓総長の強い意図で、社会に開かれた京都大学の在り方を示してきたところが、学生集会所でありました。その内実を京大合唱団が果たしてきたと言えましょう。ケンブリッジ大学で学位取得し、統計学等近代数学を日本に定着させた科学者が菊池大麓教授で、日常生活で我々はその恩恵を受けています。

現団は、新学生集会所が出来るまで西部構内の仮ボックスで、活動を行なっています。仮とは言え、広さは同じで、空調・防音整備がなされ、練習ははるかにやり易くなったと思います。

新館竣工時には、備品等必要なものが現団より求められれば、同窓会として協力したいと考えています。新館には、小さなコンサートホールが出来そうで、現団との活発な交流が出来ることを楽しみにしています。

—学生集会所と京大合唱団—

京大合唱団顧問 奥村 英之(S62)

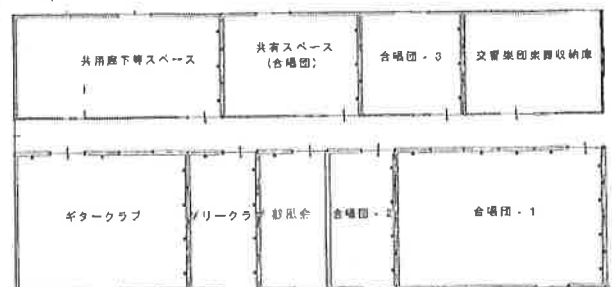
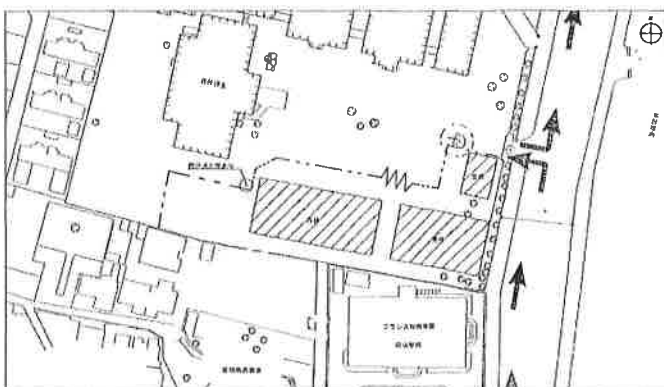
ピークオイル論の如「無くなる」と言われ続けて30年。然し総長は狼少年でなかった。資金尽きず地震列島論で抵抗少く、集会所は101年の歴史に幕を閉じた。現団は無事見送れた。取壊しはトントン進み煉瓦残すのみだが、意匠を凝らした天板や扉、階段手摺、装飾等は既に生捕り済。建築情報は関大西澤氏、学術写真は工織大石田氏のご尽力で保存できた。真夏に作業服で働いた両研究室の学生達に感謝したい。

埋文調査は3か月遅れ10月に開始される。最短3か月で新築施工を開始し、来年の11月に竣工する。ただし埋文調査は期間が未定。鳥羽法皇皇后藤原泰子御願の九体阿弥陀堂や三重塔供養の福勝院、縄文弥生土器が出土する可能性もある。

現団は8月初め西部プレハブに引っ越した。フロアは若干狭いながらも快適で広くBOXの他2室を所有し、6室が練習に使用できる。音響は悪いが冷暖房を完備している。12月8日第84回定演に乞期待。

新築は地下2階地上3階、延床2,872平米、専有1,790平米(旧学生集会所は897平米)で、現団は2階3室70平米、41平米、31平米の3室を所有する予定である。

引き続き現団をお見守り下さい。



西部構内の現団BOX 左:周辺図、右:西棟、合唱団-1、2、3

東北被災地訪問報告

同窓会会員有志は先頃つぎの行程で東北被災地を訪問しました。

- 6月21日(金)： 正午JR郡山駅集合。「郡山ザベリオ学園」小学生を対象に“ふるさとの四季”を合唱。小学生、郡山男声合唱団「ドンカラック」とともに“Believe”、“花は咲く”を全員合唱。松井会長は小学生高学年を対象に講演。「ドンカラック」と交流後猪苗代湖、磐梯吾妻スカイライン経由飯坂温泉へ。
- 6月22日(土)： 「プライムケア桃花林」を訪問。“ふるさとの四季”を合唱。“桃花林のうた”、“花は咲く”などを一緒に歌って交流。阿武隈ライン舟下り。被災地(宮城県山元町～福島県相馬市の海辺)を経て国民宿舎泊。
- 6月23日(日)： 丸森「斎理屋敷」見学。阿武隈急行丸森駅前解散。

東北被災地訪問（下見ツアー）報告

代表幹事 望月 勝房(S43)

下見ツアーには、21名という多くのOB・OG有志が参加されました。そのことにより、福島県内の2つの施設で混声ミニ演奏会を実現出来、郡山市の有力な男声合唱団ドンカラック有志と初の交流会も実現出来、大津波に襲われた相馬市の被災現場巡りをした私達を、現地関係者の皆様が歓迎して下さいました。

今回のミニ演奏会は、現地の皆様と一緒に歌おうという演奏会になりました。初日のザベリオ学園小学生との演奏会開催、その後のドンカラック有志さんとの交流会、2日目の介護施設「桃花林」での演奏会でも、“ふるさとの四季”、“花は咲く”を中心に被災地の皆様と一緒に歌って来ました。

実はこのことで、私達と皆様に強く結びつける不思議な力が働きました。「合唱には人を結びつける力が有る」ということを双方が体感出来たのです。被災地での演奏は、現地の皆様に感動を与えるだけでなく、訪れる私達に、現地の皆様も大きな感動を与えて下さることを実感しました。この下見ツアーで、2年後位にドンカラックさんと男声で、そして女声も参加しての演奏会を開催し、2つの施設への再訪問という大きな夢を抱いた次第です。

「下見ツアー内容報告書」、「ツアー参加者&ザベリオ学園生徒からの感想文集」、「下見ツアー演奏会紹介の報道記事集」をネット上で作成済です。

ご関心のある方は、メールアドレス(cdt14790@syd.odn.ne.jp) 又は ☎075-371-9290 にご連絡頂ければ、配信、郵送致します。

京大同窓会合唱団の皆様を迎えて

小檜山 奈津江(S63)

6月21日午前11時半。我が家の目の前の幅8メートルの道路に大きな?中型バスが停まった。本当に京大同窓会合唱団の方はお越しになるのか?少しだけ不安を抱き、郡山駅に向かった。

言葉だけのやり取りで準備を整えていたとしたらこの信頼関係は危ういものだが、1年半の準備の間には松井会長の郡山来郡。郡山での合唱連盟会長・ドンカラック指揮者・団長と松井会長・私を含めた懇親会。昨秋には京都へ私が向かった。ドンカラックの練習やザベリオ学園の打ち合わせにも何度も直接出向き、備えた。

さあ、1時間後には郡山ザベリオ学園での演奏会が始まる。共通の歌を持ち、歌でその心を表すために合唱団の面々がほだなく集まる。バスは安堵と感謝と少しの不安を乗せて。演奏会終了後に先生方が子供たち以上に感動されたことを知った。京大同窓会合唱団の来訪は被災地に住む私に力を与えてくれた。



東北被災地訪問報告

帰っていく私たちに「月曜日も来てね」と手を振ってくれた小学生たち。「次は北福島の医療センターにも」と施設のスタッフたち。津波の廃墟となった学校跡で出会った婦人は「私たちもこの町で歌っています」と。斎理屋敷の「ざっと昔」の知人も歌う人だった。

一級河川阿武隈川流域の合唱全国一の街郡山が放射能に苦しむ町になってもみんな歌っていた。

たとえば君が傷ついてくじけそうになった時は必ずぼくがそばにいて支えてあげるよ

体育館いっぱい響きわたった声はいまも身のどこかでチクチクする。一緒に歌うことになったドンカラック合唱団の父さんたちは、この秋10月27日郡山25団体中3団体のみ男声合唱団合同の「男の合唱まつり in 郡山」で歌うという。「こちらも台風で」と伏見の酒「松竹梅」を下げて訪れたときも齢八十のテナーの指揮棒は厳しく繊細だった。

どこも歌う男性が稀だとのことだった。四月に初めてお訪ねしたとき「うち(京大)の男声とどこか似ている」と思えたのが出発点になった。よかった。何かが始まった。始められた。そういう二泊三日だった。

(プロジェクトリーダー) 石動 敬子(S48)

郡山ザベリオ学園小に京大合唱団同窓会

組曲や童謡など披露



郡山市の郡山ザベリオ学園小に二十一日、京都大合唱団同窓会のメンバー二十二人が訪れ、合唱を通して交流した。

四季の歌などを披露する京都大合唱団同窓会

全国各地から集まった二十二人は混声合唱組曲「ふるさとの四季」を披露。「ふるさと」「おぼろ月夜」「村祭り」など児童にもなじみの曲を次々と歌い上げた。

地元の郡山男声合唱団ドンカラックの有志や同小の教員、浪江町から避難している住民と児童が一体となって「ピリッ」「花は咲く」なども歌った。

京都大名誉教授の松井三郎さんによる講演会もあり、「君たちなら出来る! 福島の復興」の題で話した。

郡山ザベリオ学園 (6月23日 福島民友報道)

ともに歌い絆強める

福島民報

2013年(平成25年)6月24日(月曜日)

美しい歌声を披露するメンバー



京大合唱団 歌で高齢者癒やす

伊達の施設を訪問

「京大合唱団同窓会合唱団」は二十二日、伊達市の介護老人保健施設桃花林を訪れ、歌で高齢者を癒やした。

東日本大震災の被災者を元気づけようと企画した。メンバー約二十人が訪れ、デイケア利用者や入所者約百人に合唱を披露した。「桃花林の歌」や童謡などを歌った。お年寄りには手拍子するなどして楽しんだ。

プライムケア桃花林 (6月24日 福島民報報道)



現団・会員からのメッセージ

♪ 京大合唱団 第84回定期演奏会のご案内

私たちの一年間の集大成です。同窓会の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

- 日時 … 2013年12月8日(日) 開場 15:00 開演 15:30
- 会場 … 文化パルク城陽プラムホール ○ 入場料:500円
- プログラム … 1st Stage : アポリネールの詩による四つの無伴奏小品集「白鳥」
作詩 : Guillaume Apollinaire 訳詩 : 堀口大學 作曲 : 高嶋みどり
指揮 : 浦川幸愛 演奏 : 京都フラウエンコール
- 2nd Stage : 無伴奏男声合唱のための「カウボーイ・ポップ」
作詩 : 寺山修司 作曲 : 信長貴富
指揮 : 西本凌 演奏 : 京都大学男声合唱団
- 3rd Stage : 混声合唱曲集「木とともに 人とともに」
作詩:谷川俊太郎 作曲:三善晃
指揮:竹内和也 ピアノ:木下亜子 演奏:京大合唱団

- お問合せ(総務) … 永井遼司 ☎ 080-5038-4775 ✉ yuan.niente-miente43@ezweb.ne.jp
宇治春佳 ☎ 080-1440-5214 ✉ uzizi.h@gmail.com

♪ 京大合唱団・大阪大学混声 合唱団・パナソニック合唱団 Joint Concertを聴きに行く

6月の或る日、京大合唱団から招待状が届いた。以前、演奏会を聴きに行ったときか何かの機会に住所と名前を書いておいたからかと思う。

現団は、いつも夏にジョイントコンサートを行う。昨年は確か大学同士のジョイントだったと思うが今年は合唱界の重鎮、パナソニックとの共演ということで特に興味をそそられた。演奏会当日、同じ思いか、松井会長を含め同窓会関係で7、8名ほどが聴きに来られた。

今年の早春、現団の卒団演奏会に案内されて聴きに行ったときに、少人数の卒団生の歌う表情、音の確かさ、声量などに驚かされ、OBらに聞いていた近年の演奏力の目覚ましい向上にある種のカルチャーショックを受けた。今回のジョイント演奏にもそれに近い感動を覚えた。他の2団の演奏も良かったが紙面の関係上省略する。ただ、最後の本城正博さんの指揮による300名を越える3団合同での宗教曲は圧巻であった。

石橋 克己(S48)

♪ 九月の再会 一歌は年を経て熟しゆく

「京大合唱団同窓会合唱団」と「東京洛友ハーモニー」の合同演奏会を聴き、久々に合唱と旧友に再会してうれしい昼下がりから宵でした。学部卒業の際に合唱から離れた私には、合唱とは「若者の叫び」というイメージで聴き、歌う癖が消えませんでした。これまでもOBの演奏を何度も聴いていますが、どうやら「若者になって歌っている彼ら」として聴いていたように思います。今回の演奏を聴きながら、円熟世代の歌に出会っていると、思いを強くしました。レパートリーにも表現力にも、歌い続けるってこういうことなのだと実感させられるステージでした。

団ボックス(学生集会所)の建て替えについて、建築史・学生生活文化史的に興味深いレクチャーを聴くことができました。部室の記憶といえば、在団していた50年代末、隅っこにあったのが『南山城大水害救援』のノボリ旗数本です。練習中、いや応なく目に入ってきて、先輩たちの心意気と行動力に思いをはせながら歌っていました。いまはあたりまえになっている災害ボランティア活動の原点が団の歴史にあったことも誇りです。

清水 民子(S35)

京大合唱団同窓会 全学の同窓会評議員に就任

京都大学は平成18年頃全学にあるさまざまな同窓会のネットワークづくりを始めた。京大合唱団同窓会にも声がかかり大学のホームページ上で活動紹介を行った。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/alumni/p3/p302.htm#001>

5月9日全学の同窓会より京大合唱団同窓会に対し評議員の推薦依頼があった。これを受け全学の同窓会事務局に今回の目的や就任に伴う責任について説明を求めた。その結果、評議員の構成を地域同窓会や学内公認課外活動団体の実態に合わせることを主な目的としていること、また就任に伴う責任はホームカミングディの日に開催される役員総会出席など限定的であることが伝えられた。5月18日幹事会は、今回の推薦が京大合唱団同窓会の活動を大学として評価した結果であること、また過度な負担がないことが確認されたことにより推薦依頼を受けることを決定した。11月2日役員総会に参加する。

全学の同窓会の会則：<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/alumni/kaisoku.htm>

役員名簿：<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/alumni/meibo/index.htm>

京都大学同窓会評議員の推薦について（ご依頼）

京都大学同窓会会長・京都大学総長 松本 紘

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より、京都大学同窓会の運営にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

京都大学同窓会は、評議員、幹事等を中心に同窓会の皆様のご協力を得て運営をしているところです。

現在、京都大学同窓会の重要事項を審議していただく評議員につきましては、①研究科長・学部長、②研究科、学部等の同窓会から推薦された評議員、③地域同窓会からの推薦された評議員、計38名により構成されています。この内、地域同窓会から推薦された評議員の数は、京都大学同窓会設立時に入会した地域同窓会からの7名であり、入会した地域同窓会が24組織に拡大したにもかかわらず評議員は増えてはおりません。

京都大学同窓会がより発展し、また、地域同窓会(24組織)及び学内公認課外活動団体(4組織)の同窓会がそれぞれ連携し、活発に活動していただくためにも、これらの全ての同窓会から評議員にご就任いただきたいと思っております。(後略)

敬 具

京都大学同窓会の評議員推薦を受けて

同窓会会長 松井 三郎(S41)

旧国立大学は、大学法人化以後、経営を真剣に考える組織に変貌しました。世界的に教育・研究経費が増加する中で、それに見合った文部省予算の増加は望めません。高齢化社会の医療・年金予算は増加一方です。私もその高齢化の一員として、国家の借金には心配しています。EU諸国やアメリカの大学予算(教員・学生当たり)と比べておよそ半額の日本は、国際競争に負けないために、外部資金の導入がますます必要です。そこで、同窓会員からの寄付(税金控除)や人的関係によるさまざまな支援をもとめるのは自然の成り行きです。私は、州立テキサス大学の工学研究科同窓生ですが、同窓会が熱心に卒業生から寄付金集めを行い、それで学生奨学金を準備し、優秀な学生を全米から招いています。全米ランキングで何位かを、毎年気にしています。京都大学はクラブ活動同窓会にも、協力を求めている、文化活動組織では一番組織が確立している京大合唱団に、全学同窓会評議員の就任依頼が来ました。当局が京大合唱団同窓会の活動を認めた形になりました。今後我々の活動を活発にするとともに、京都大学全学同窓会にも協力し、現団活動が発展することを願っています。

新吉田寮の建設

旧京都大学交響楽団BOX跡地(吉田寮新棟用地)の整備工事については(株)内田組が66,000千円で落札し7月10日頃より埋蔵文化財調査が進められている(5月10日付入札公告「学生寄宿舍吉田寮新棟用地埋蔵文化財調査その他工事」)。京都大学文化財総合研究センターが都度埋蔵文化財調査の最新情報を提供している。

http://www.kyoto-u.ac.jp/maibun/

9月20日京都大学は「学生寄宿舍吉田寮新棟新営その他工事」等3件を入札公告した。これによれば吉田寮新棟は木造一部鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階、建築面積585㎡、延床面積2,107㎡となる。また現在の食堂(1889年の竣工から124年となり国内の大学に現存する最古の建物)については耐震補強工事などを行いこの新棟と連結される。

学生集会所の解体撤去

学生集会所の解体計画を知り多くの団体、個人が吉田南構内を訪れた(6月12日朝日新聞(西日本版)夕刊)。京大合唱団関連では6月8日若い世代を中心に「サヨナラBOX団音」が開催され200名以上が参加した。6月16日同窓会は「学生集会所お別れの会」を開催し約100名が参加した。これらの催しについてはつぎで報道された(6月17日朝日新聞(京都版)、7月18日京都新聞夕刊)。

工事業者は集会所玄関に8月19日より解体工事を開始すると掲示、9月上旬扉、窓など非構造材を撤去し、ついで西から東にかけて本格的解体工事を行った。9月下旬一部基礎を除き解体撤去工事は終了した。京都大学文化財総合研究センターによれば、学生集会所跡地に対する埋蔵文化財調査は10月上旬開始される。

新学生集会所の建設

9月26日京都大学は「学生集会所新営その他工事」を入札公告した。これによれば鉄筋コンクリート造、地上3F、地下2F、延床面積2,976㎡(旧集会所の3倍近い。屋内駐輪場を含む)。開札は11月26日。工期は来年12月5日までの約12ヶ月とされている。

(広報・企画担当) 石動 正和(S48)



京大「音楽の殿堂」に幕

京大(会館市左京区)で約100年前に建てられた「学生集会所」(木造2階建て)が、来月にも取り壊される。歴史的建築物として大切に扱われてきた「学生集会所」(地上3階、地下2階)を建て替える予定だ。

学生集会所は吉田寮の隣の古い建物で、ほぼ同年代に建てられた海軍省が創立、戦後にも老朽化や新築建設のため取り壊されたが、今も京大の学生生活の中心地として大切に扱われてきた。京大では珍しい、学生集会所を使うサークルの中でも、約100人が所属する合唱団は引継ぎの老舗。男声・女声・混声に分かれて週3回、2階共用スペースで練習する。団員で経年3年の宇治春佳さん(21)は「昔であれば部室にきて、友人と話したり人数で歌ったり。新しい建物になっても、今と変わらないくらい自由な雰囲気であり続けたい」と語る。コンサートのある来月7日までは学生集会所を使い、その後しばらく仮設のプレハブ建物に移る。

16日のお別れの会は、合唱団同窓会OBが対象。スライドで集会所の歴史を振り返るほか、京大の前身の一つ、旧制第三高等学校の学生が作った「琵琶湖の歌」など、広い世代が一緒に歌える歌を歌い、名残を惜しむ。(取材)石動 正和

練習も、議論も…文化育んだ

建て替えるに合意、7月中旬にも取り壊しを始める。埋蔵文化財調査を経て、2014年にも鉄筋コンクリート造の新しい集会所(地上3階、地下2階)を建て替える予定だ。

学生集会所は吉田寮の隣の古い建物で、ほぼ同年代に建てられた海軍省が創立、戦後にも老朽化や新築建設のため取り壊されたが、今も京大の学生生活の中心地として大切に扱われてきた。京大では珍しい、学生集会所を使うサークルの中でも、約100人が所属する合唱団は引継ぎの老舗。男声・女声・混声に分かれて週3回、2階共用スペースで練習する。団員で経年3年の宇治春佳さん(21)は「昔であれば部室にきて、友人と話したり人数で歌ったり。新しい建物になっても、今と変わらないくらい自由な雰囲気であり続けたい」と語る。コンサートのある来月7日までは学生集会所を使い、その後しばらく仮設のプレハブ建物に移る。

16日のお別れの会は、合唱団同窓会OBが対象。スライドで集会所の歴史を振り返るほか、京大の前身の一つ、旧制第三高等学校の学生が作った「琵琶湖の歌」など、広い世代が一緒に歌える歌を歌い、名残を惜しむ。(取材)石動 正和

同じ年生まれたら 今でも毎年1月には、東京で開かれる合唱団OBの集まりに顔を出している。集会所はとてスマートで綺麗な建物だったのを見て。大学周辺にあっては建物ほとんどなくなってしまっている。私の学生生活は、合唱団抜きには考えられない。

青春が詰まっている 京大合唱団OBでジャズ・ナリスの鳥越雄太郎さんの話。卒業後も何回か訪ねたが、部室も高のままでいづつも懐かしさを感じる場所。文学部に7年間在籍したが、元気でよく「合唱団卒業」と言っている。学生運動が盛んな時期を過ごした。政治的なテーマも熱心に語り合った。デモで授業を休んでも、練習は欠かさず出た。青春の全ての記憶が詰まった場所がなくなるのは寂しいが、仕方ない。よくぞこれまで生き残ってくれたと心からお話を聞いていた。

築100年「学生集会所」取り壊しへ

京大合唱団同窓会合唱団・ 東京洛友ハーモニー演奏会

同窓会合唱団団長・混声指揮者
上床 博久(S44)

9月7日京都コンサートホールで、「京大合唱団同窓会合唱団・東京洛友ハーモニー演奏会」を開催しました。定員約500人の小ホールはほぼいっぱいとなり、温かい雰囲気の中で心楽しく歌う事が出来ました。

第一ステージは京都大学学歌演奏の後、同窓会合唱団(男声)が太田さんの指揮で廣瀬量平作曲「海鳥の歌」を演奏しました。第二ステージは同窓会合唱団(女声)が岡本さんの指揮で松下耕作曲「そのひとがうたうとき」を演奏しました。第三ステージは東京洛友ハーモニーが鈴木さんの指揮で荻久保和明作曲「季節へのまなざし」を演奏しました。第四ステージは同窓会合唱団(混声)が上床の指揮で高田三郎作曲「心の四季」を演奏しました。第五ステージは合同演奏で、源田俊一郎編曲「ふるさとの四季」を上床の指揮で演奏しました。

ピアニストの木下さん、大石さんに音楽的刺激を頂きながら、本番に向けて団員と指揮者が熱意ある音楽作りを行い、本ステージではそれぞれが良い音楽を演奏することができました。スタッフを初め皆様のご尽力に感謝致します。

新旧入り交じりの楽しみここにあり

東京洛友ハーモニー指揮者
鈴木 誠二郎(S46)

「楽しい」「美しい」「深い」をモットーにスタートした東京洛友ハーモニー、しばらくは「珠玉の小品集」を楽しんでまいりましたが、今回のレパは、ちょっとむつかしめの荻久保和明「季節へのまなざし」にチャレンジしました。

メンバーは、本番当日の舞台リハでもこけるほど難しい曲なのに、はまった時の感激的なハーモニーにすっかり魅了され、今では大好きな曲になってしまい、何と残りの2曲にもチャレンジすることになりました。

1988年、1996年の定期演奏会で混声レパとして演奏された、平成世代もすなる新しい名曲を昭和世代のメンバーも歌ってみむとて、若く新しいメンバーとともに取り組む中から、リバイバルでない新たな感動と熱いハーモニーが得られる体験は、やはり同窓会ならではのことでですね！

これからも京都の皆様とご一緒に同窓会を盛り上げてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

演奏会を終えて

同窓会合唱団委員会(総務)
梅景 憲子(S51)

9月7日(土)に京都コンサートホールにて、東京洛友ハーモニーの皆様と演奏会を開催いたしました。月に一度の練習ですので、全員がそろうのは、当日のリハーサルという状況でした。

でも、本番は本当に幸せにうたうことができました。一人一人の長年の経験と、活動が始まって10年間声を合わせて歌ってきた仲間が醸し出す響きが、あたたかく周囲を包み込んでくれました。けれども、「本番が楽しかったらいい」ということで満足するような指揮者や団員ではありません。より、楽しく、うまく歌いたいという希望は膨らむばかりです。

これからも、「月に一度、必ずそこに行けば歌と仲間がいる」という創立からの思いを大切に活動していきたいと思っています。皆様のご参加をお待ちしております。

京都で演奏できる喜び

東京洛友ハーモニー世話人
織田 一範(S47)

今回の京都演奏会に東京洛友ハーモニーからは、上は昭和35年卒団から下は平成2年卒団まで、41人が参加しました。

京都を離れている私たちにとって、京都の地で、しかも同窓会合唱団のみなさんとともに歌えるのは、とても大きな喜びです。準備や運営のほぼすべてを京都の皆さんにお世話になり、本当にありがとうございました。

洛友ハーモニーは発足から4年、だんだんと形が整ってきました。しかし年齢の高い方の中には、外出、特に遠出が難しくなってきた方もいらっしゃいますし、若手の団員も、親の介護やこどもの受験、仕事で多忙など、月1回の練習に欠かさず参加するのが難しい要因は多くあります。私たちは、かつてBOXで歌った仲間やその家族が、来られる範囲で気楽に集まれる合唱団でありたいと思います。首都圏や周辺にお住まいの皆様、お気軽にご参加ください。

お知らせ

☞ 寄付に対するお礼とお願い

代表幹事 望月 勝房

同窓会通信第19号(5月発行)に合わせ、全ての会員に会費払込票を同封した所、15名の会員から64,000円もの寄付がありました。この場をお借りし、御礼を申し上げますと共に、寄付金は現団支援等に有効に使用させていただきます。

少子高齢化で同窓会費の入金額も減少しています。現状の入金状況が続けば現団支援にも限界が生じかねません。そこで今後、払込票に新たに寄付の項目を加え、継続的に寄付をお願いすることにご理解の程お願い申し上げます。尚、改めて申し上げるまでも無く、寄付はあくまでも任意のものです。

☞ 年会費払込みにATM利用のお願い

会計担当 梅原 節子(S53)

同窓会年会費の払い込みに関わる手数料は、従来から同窓会が負担しております。

この手数料は、窓口払込では120円ですが、ゆうちょ銀行ATM利用では80円で済み、40円の差ですが件数が多いと無視できない金額で、無駄な支出となっています。

そこで同窓会員の皆様には、できるだけゆうちょ銀行ATMを利用しての払い込みを改めてお願いいたします。

編集後記

一つの演奏会が終われば又次のステージに向かって時は流れ出す。レパも一新されるから楽譜も手離すことになる。月一回とは言え、二年間手もとに置いた楽譜をどうしたものかと特に今回は迷った。これからもきっと、と手もとに置くのもある。「ふるさとの四季」と「花は咲く」だ。

十年経っていたと気がついたのは演奏会後のこと、プログラムを見てのことだったが、いつだってステージは絶望の淵を孕む。あの日も最後はきっと神サマが、いや、うちの合唱団のDNAが、などと笑っても大曲、難曲には違いなく、毎度のことながら不安だった。

それが本番となると、ステージが進むにつれて不思議にほぐれて行った。客席のおかげだろうか、温かい呼吸とこちらとが、指揮棒でつなげられ一つになれる。ぶ厚い日常(「心の四季」)から水にもぐったみずすましきながら合唱の力に出会う場にいる幸福というか恍惚に近い。

その夕べの学生集会所は雨にぬれ、青シートにつつまれ解体は始まっていた。それを目のあたりにしたあとの九十人。楽友会館での打ち上げは、飲食にもまして何とも凄味の加わった青春の歌声が、百年の学生集会所にとどけといわんばかりだった。男声があり、女声があり、混声があつてよかった。

石動 敬子(S48)

★ 同窓会通信は同窓会全体の主要な動きを会員にお知らせするとともに、会員相互のコミュニケーションを図ることを目的にしています。皆様の積極的な投稿を歓迎します。

送信先 : ☒ kucdosokai@gmail.com Fax : ☎ 075-241-4933

会員がkucdosokai@gmail.comにメールを送信されたとき、担当幹事は常時3日以内に受信した旨返信することになっています。非常に稀なケースですが、送信メールが正常に受信できないケースがあることが確認されました。もし返信が確認されない場合、お手数ですが090-2047-7757或いは上記Fax宛てご一報頂ければ幸いです。

広報・企画担当 石動 正和(S48)